

## 具体的にどんなアドバイスができるのか、例としてご紹介します！

Q. 水稻の収量が大幅に減った。農薬や肥料が少なすぎる？



Q. 米作りの指導会や、研修会も年に数回あるが、もっと身近に相談しやすい人がいたらいいんだけど…

Q. 今年も忙しく農繁期が終わった…農業用設備や作業の段取りの見直しを行いたいが、どこから手を付ければいいのか分からない！



今回はこの中からこちらの質問をピックアップして回答します！



農作業中の草刈さん

### A. 機械配置は導線を考えて。圃場管理はシステム化も有りですよ。また、思い切って設備投資も検討してみましょう。



例えば圃場管理は、営農管理システムが各所（ソリマチ株式会社など）から出ています。作業内容や作付けの計画を、エクセルとスマホを連動させて、視覚的に分かりやすく「見える化」できるので、このようなやり方で作業の段取りを考えるのもオススメです。

また、営農の計画は立てていますか？例えば5年先の経営状況を見据えて、思い切って設備投資する、といったことも検討できるかもしれません。

それぞれ経営の考え方は異なるけれど、きっと前向きな手がかりが見つかると思います。一緒にお茶でもしながら、お話ししましょう。

- ① 「忙しい」という言葉は使わない
- ② 「失敗」という言葉は使わない。一般的に失敗といわれる事象は許容範囲を広げて経験値として扱い、次の計画に生かす
- ③ 疑問は追求し、納得のいく答えが見つかるまで諦めない
- ④ 地域への貢献感と、日々の作業の達成感が持てる思考を持つ
- ⑤ ポジティブな取り組み姿勢を貫くこと
- ⑥ 地域への貢献感を持つこと
- ⑦ 何事も結果を評価し、次に備えること
- ⑧ 地域、関係機関、情報機器への積極的な関わりを持つこと
- ⑨ 変わる事を恐れない  
 ポジティブ・貢献感・達成感・情報収集・変化を楽しむながら簡単には諦めないことが、仕事の上で最も大切だと考えています。

#### ■現在行っている

#### 農業経営のススメ

問合せ先

役場山村再生課

☎ 75-3117